



令和6年4月1日

報道関係 各位

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
乾癬治療ケアセンター長
皮膚科 教授 西田 絵美
電話 052-991-8121

名古屋市立大学医学部附属西部医療センターに 「乾癬治療ケアセンター」を開設いたします

名古屋市立大学医学部附属西部医療センターでは、令和6年4月1日に乾癬患者さんの診断及び集学的治療に寄与することを目指して、**東海地方初**となる「**乾癬治療ケアセンター**」を設置いたします。本取り組みを広くお知らせするとともに、是非、ご取材いただきますよう宜しくお願いいたします。

【設置趣旨】

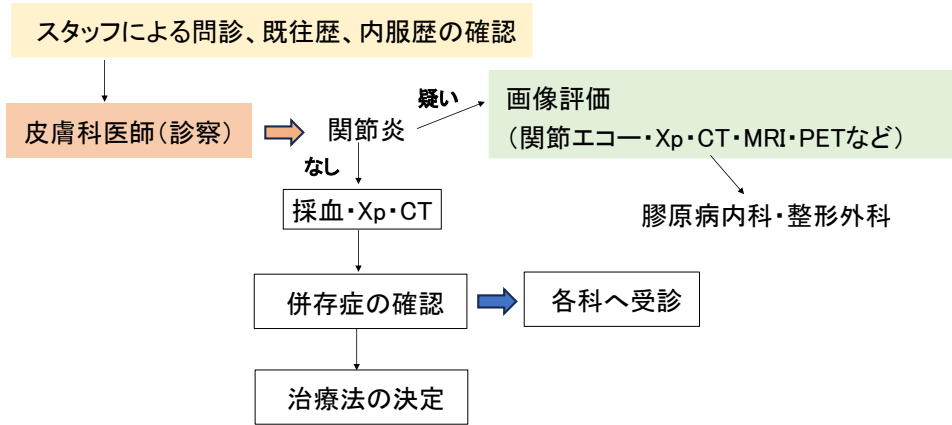
乾癬は皮膚に特徴的な皮膚症状をもたらす慢性炎症性の皮膚疾患で、本邦における罹病率は約0.3～0.4%、患者数は約40万～50万人とされる疾患です。欧米においては人口の2～3%と多く、近年は生活習慣の変化などさまざまな要因で、本邦でも患者数は増加しています。遺伝的な要因と環境要因から発症するとされていますが、乾癬性関節炎、心血管疾患、脂肪性肝疾患など多くの併存症を合併しやすいことも知られてきており、集学的医療が求められています。治療については約15年前から生物学的製剤治療などの効果的な治療が承認されており、全身管理を要する疾患であることから、そのマネジメントを行うために、世界的に「乾癬センター」の設置は増えてきています。しかし、日本においてはまだまだ数施設に留まり、東海地区にはないのが現状です。複数の診療領域と連携し、評価を行い、将来の併存症をなくすこと、数ある治療を最適化することを目指し、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターにおいて乾癬治療ケアセンターの開設をいたします。

【特色】

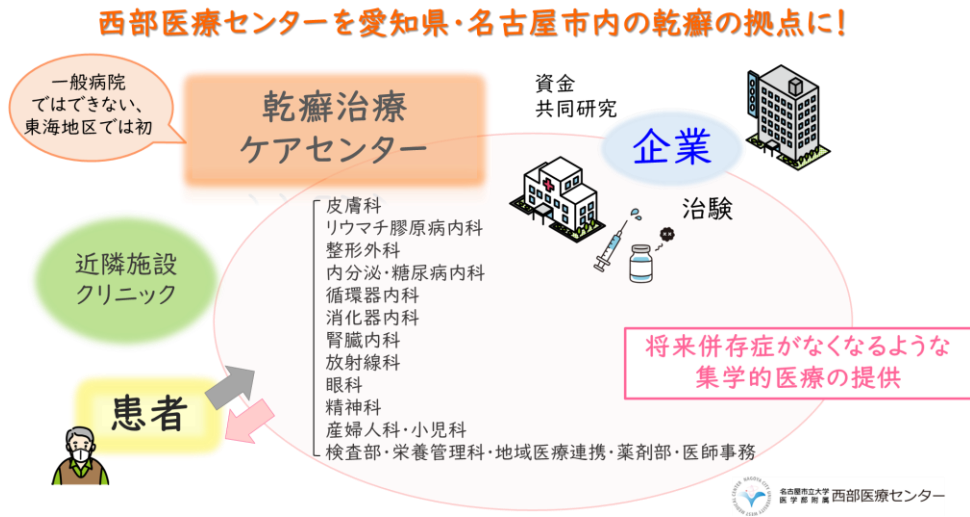
- ・新規患者を中心に地域医療連携・相談支援室にご紹介いただき、完全予約制（火曜、金曜午前、水曜午後）で診療を開始します。
- ・初診時から治療に至るまで乾癬に精通した日本皮膚科学会専門医、またその他各診療科の専門医が一貫して診察することにより、適切な医療を提供します。

例) 乾癬と診断されたが、いまだ満足いく治療が行えていない方、乾癬でいままで治療してきたものの、皮膚症状以外の関節症状が合併している方、もともと併存している疾患があるため塗り薬の治療以外の治療が行えず、困っている方。

【センターでの診療の流れ】



【イメージ】



【取材に関するお問い合わせ先】

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター経営課 企画広報担当
電話 052-991-8121 FAX 052-916-2038